

タワーレコード渋谷店移転20周年記念 Aureole「Awake」渋谷店限定発売 & odol「odol」渋谷店先行発売決定！

タワーレコード渋谷店では、移転20周年を記念して、Aureoleのベストアルバム「Awake」を渋谷店限定で、odolの1stアルバム「odol」を渋谷店先行で発売いたします。

渋谷店では、今後も移転20周年を記念したさまざまな企画を行っていきます。

タワーレコード渋谷店限定アルバム Aureole「Awake」

品番：KLK-2043 / 価格：1,980円+税 / 3月11日（水）発売

収録曲：Core / Live Again / The House Of Wafers / World As Myth / Windfall / Miz / Dell / Disappear / Suicide

話題の革新的インディーロックバンド、Aureoleの新作はライブアレンジでリテイクしたベストアルバム。一発録りによる8つの過去曲と、新曲「Core」が収録された全9曲入り。

新進気鋭のインディーレーベル<kill records>主宰森大地が率いるAureoleがライブアレンジでリテイクしたベストアルバムをリリース。全曲一発録りで作られた本作は、ライブパフォーマンスの評価が高いAureoleの魅力を存分に堪能できるものとなっている。スリリングかつ繊細なサウンドは正に唯一無二。ポストロック、エレクトロニカの枠を大きく越え、全音楽ファンに突き刺さる音楽だと言える。

これまでのAureoleファンはもちろんのこと、今までAureoleを知らなかったという人にも入門アルバムとしてオススメな一枚。



Aureole



「Awake」ジャケット写真

タワーレコード渋谷店先行発売 odol「odol」

品番：UKCD-1153 / 価格：1,700円+税

3月10日（火）タワーレコード渋谷店先行発売・5月20日（水）全国発売

収録曲：あの頃 / 飾りすぎていた / ふたり / 君は、笑う / 欲しい / 愛している / 生活

1分半程度の短さの中で、壮大かつ、ドラマチックにアルバムの冒頭を飾るM1。odolを象徴するようなゆったりとしたBPMで、繊細かつエモーショナルに胸に迫るM2。アップテンポで畳み掛け、爆発力のあるM3&M5。

歌とピアノをメインに、浮遊感あるギターと、叙情性が滲み儂さを帯びた歌声とが相まって、柔らかくも切ないM4。アルバム随一の激しく重みのあるサウンドと、それに呼応するかのように昂る歌唱で見事な構築美のM6。美しいピアノのイントロから堂々たる名曲の風格を漂わせ、odolの個性が最良の形で結び付いた名曲M7。

全曲オルタナティヴな感性と美意識に貫かれた世界観でありながら、ポップミュージックとして開かれた作品となっている。今後の更なる飛躍を期待せざるを得ないバンドである。



odol



「odol」ジャケット写真

ご取材ならびにこの件に関するお問い合わせ先

タワーレコード株式会社 広報室 谷河（やがわ）、伊早坂、松本 TEL:03-4332-0705 Email:press@tower.co.jp

◆Aureole



<プロフィール>

2007年結成。森大地(Vo/Gt/Prog)、岡崎竜太(B)、中村敬治(Gt)、中澤卓巳(Drs)、saiko(Syn&Flute)、佐藤香(Vibs&Glocken)の6人組バンド。都内を中心にライブ活動を行っている。ポストロック、エレクトロ、クラシカル、ミニマル、プログレ、サイケ、民族音楽、ダブステップなどを通過した奥深いサウンドと「歌モノ」としての側面、この二つの要素が違和感なく融合したサウンドが特徴。2009年にNature Blissよりデビューアルバム『Nostaldom』をリリース。青木裕(downy, unkie)をゲストに迎えたこの作品は、各方面から多くの支持を得た。2010年にはVoの森大地が主宰するレーベル、kilk recordsより2ndアルバム『Imaginary Truth』を発表。『今後の日本の音楽シーンのキーマン』と称され、一層の注目を集めた。2012年には3rdアルバム『Reincarnation』をリリース。同作品のレコ発ライブとなる渋谷o-nestワンマン公演ではソールドアウトを記録。2014年11月には2年ぶりとなるフリーの配信限定シングル「Ghostly Me / The House Of Wafers」をリリース。一晩で1000以上のダウンロード数を獲得し、多くの話題を集めた。

◆odol



左から、Shaikh Sofian(シェイク・ソフィアン)(Bass)、井上拓哉(Guitar)、ミヅベリヨウ(Vocal, Guitar)、垣守翔真(Drums)、森山公稀(Piano)

◇2015年、日本語オルタナティヴ・ロック最大の新人バンド、odolデビュー。

結成から半年足らずでFUJI ROCK FESTIVALへの出演を果たし、注目を集めていたodol。

2015年5月20日に1st Album『odol』をUK. PROJECTからリリースする。（タワーレコード渋谷店のみ3月10日から先行販売）

これまでの作品は全てbandcampとSoundCloudでの発表のみであり、今作が初のフィジカル・リリースとなる。

現在SoundCloud (https://soundcloud.com/odol_jpn) にて、1st Albumに収録される、「飾りすぎていた」、「君は、笑う」、「愛している」の3曲がフル試聴出来る。また、今作のレコ発イベントを、4/26（日）東京・下北沢GARAGEにて開催する（詳細は後日発表）。

<プロフィール>

福岡の中学校の同級生だったミヅベと森山を中心に、東京にて現在の5人組として結成。

2014年2月に1st ep「躍る」、7月に2nd ep「生活／ふたり」をbandcampにてフリーダウンロードで発表（※現在は終了）。また同年「FUJI ROCK FESTIVAL'14 ROOKIE A GO-GO」に出演。

Vocalミヅベの繊細さと力強さを併せ持った歌声、ディストーションの効いたギターと美しいピアノのフレーズが絶妙な調和を聴かせるサウンド、抜群のメロディ／アレンジセンスで、耳の早いリスナーから注目を集めている。

<http://odol.jpn.com>

https://twitter.com/odol_jpn

https://soundcloud.com/odol_jpn